



「ボランチわ」は日産スタジアムボランティア情報誌です

## 第28回よこはま国際ちびっこ駅伝大会

～ 2,800人を超える小学生が日産スタジアム特設コースを元気に走りました ～

2月16日(土)、寒風が吹く中で第28回よこはま国際ちびっこ駅伝大会が開催されました。駅伝の部(4区間、6,330m)には小学4年生から6年生の合計1,580人が出場しました。またロードレース(1,600m)には小学3年生から6年生の合計1,134人が出場しました。それぞれの競技は日産スタジアムトラックと外周コースの特設コースで行われました。



日産スタジアムトラックを力走する駅伝チーム

日産スタジアム運営ボランティアは、西ゲート通路のインフォメーション・スタジアム場内案内・スタジアム場内の駅伝中継の選手誘導・走り終わった選手の案内・ゴール着順カード受付・チップ回収・完走証渡しなどを担当して活動を行いました。すばらしい記録で2位以下を大きく引き離してトップでゴールする子どもがいる一方で、走り終わった小学生の中には、ゴール直後に倒れ込んだり、気分が悪くなる子どももいました。多くの小学生が精一杯の力走を見せて、その姿が運営ボランティアの心に響きました。

小学生の時にこの大会に出場した選手経験者が、今では日産スタジアム運営ボランティアとなって、今年の大会を積極的に支えています。このように選手経験者が運営ボランティアとなって活動に参加してくれることはうれしいことです。(久保勝美)



走り終わった選手からチップを回収

**ボランティアの笑顔で、スマイルスタジアム**



## 日産スタジアム・ボランティア研修会

～ ラグビーワールドカップ・ジャパン 日産スタジアム発の世界平和 ～

2月24日(日)10時～11時30分、日産スタジアム運営ボランティア(155名)とツアーボランティア及びスタジアム職員が301会議室に集まり、ボランティア研修会が行われました。今回の研修会は国連支援財団の前田淳さんと上山博美さんが講師となり、「ラグビーワールドカップ・ジャパン 日産スタジアム発の世界平和」について講演されました。国連支援財団では国連の活動を支援することにより「貧困をなくす、健康的な生活の確保、気候変動とCO2削減対策」など国連の17の目標達成に向けて貢献しています。

講師の前田さんは「国連関係者が日産スタジアムのようなスポーツ施設でお話する意義は、スポーツの役割を重視しているからです」と述べられました。また講師の上山さんは国連の17の目標のひとつから「大型スポーツイベントでの電力消費の削減、ゴミや食品の残りの削減は環境問題の改善への大切なアプローチで、これらの取り組みが観客を含めた皆さまのモデルとして良い影響を与えます」とわかりやすく説明しました。今回の講演では時間が限られていたので、国連の17のすべての目標に対してスポーツの役割と期待に関する説明はできませんでしたが、国連支援財団ではスポーツが担う役割が重要で、強力なツールであると期待しています。

今年開催されるラグビーワールドカップ・ジャパンや来年の東京オリンピック2020において、国連の17の目標に沿って活動を行っていきます。講演の最後に「今年9月～11月に日産スタジアムではラグビーワールドカップが開催されますので国際活動に貢献され、大会が成功されます様、心から願っております。」と述べられました。



講師：前田淳さん



講師：上山博美さん



講師：登丸求己さん(地球市民の平和塾 塾長)

続いて地球市民の平和塾の塾長の登丸求己さんが「ラグビーワールドカップと世界平和」について講演を行いました。その講演の要旨は次の通りです。「今年、開催されるラグビーワールドカップでは、国連の17の目標に沿って、世界平和に貢献することが期待されています。ことばや文化が異なる世界中の人たちがスポーツのひとつのルールに従うので、スポーツを通してひとつになっていきます。ラグビーはイギリスで生まれた紳士のスポーツです。ラグビーで良く使われる言葉に「One for All, All for One!」があります。日本語では「あなたが頑張れば、みんなが頑張れるよ!」と言う意味だと思っています。イギリスではラグビーを通して立派な人格形成をしています。」

「ラグビーワールドカップは全国で40試合が行われて、日産スタジアムで7試合が予定されています。ラグビーワールドカップの開催期間には多くの外国人が日本を訪問することが想定されます。お客様が滞在期間に快適に過ごすことができ、十分おもてなしができれば良いと思います。しかし、想定外のことが起きることもあります。多くの外国人をひとまとめにするのではなく、国ごとの文化に合わせて対応することが求められます。外国の国民性や価値観がそれぞれの文化に関連して、独自の考え方があります。この異文化や独自の価値観がそれぞれの判断や基準に影響していることを理解する必要があります。日本人は今まで外国人と交流する機会が少なく、異文化に接触するのに慣れていません。そのために摩擦が生じ、対立が起きることがあります。この先、より多くの外国人が訪日することが予想されるので外国人との対立や異文化を排除するのではなく、お互いを知ることによって共感していく、そし



て信頼を築いていくことが大切です。スポーツを通して共感やつながりや信頼を築いていき、それが世界平和を作っていくことになります。ことばがわからなくてもコミュニケーションを図り共感を得ることができます。その例として、手話や握手やハイタッチやハグなどがあります。」

講演の最後に「ラグビーワールドカップはとても良い機会なので、多くの外国人とコミュニケーションを図り、みんなでラグビーワールドカップを盛り上げましょう」と締めくくりました。(久保勝美)

## 2019シリーズ F・マリノス戦活動内容説明会

2月24日、ボランティア研修会の一環として2019シリーズ F・マリノス戦の活動内容の説明会が行われました。昨年の活動内容から変更された点を大家さんが説明しました。スタジアムのボランティアの活動場所は、昨年と変わりません。

<2019シリーズ F・マリノス戦の変更点>

- ・東2階席にバックアッパーゾーンが新設される(ブロック内自由席)
- ・東1階席のE12付近にファミリーゾーンが新設される(家族向けシート)
- ・1階席と2階席のチケットの価格差がなくなり同額となる
- ・チケットの価格帯は全席種で価格変動制を導入する(試合の人気などによって、標準価格より高くなったり安くなったりする)
- ・チケットの購入はJリーグチケットサイト、チケットF・マリノスサイト(F・マリノス企画チケット)、セブンイレブンやチケットぴあでは紙チケットを販売
- ・電子チケット(スマホやアップルウォッチに表示)を購入すると各種手数料が0円となる。紙チケットよりも安い電子チケットが増えることが想定される

2019年度の F・マリノス戦の変更点を理解して、間違いの無いように活動をするようにお願いします。(ボランティア事務局&研修部会 大家啓伸)



説明する大家さん

## ラグビーワールドカップ 2019 大会運営スタッフユニフォームお披露目

～ ラグビーワールドカップ開幕まで200日の節目にうれしいニュースが届きました ～

3月4日午後、テレビやインターネットや新聞でラグビーワールドカップ2019™の大会運営スタッフ『TEAM NO-SIDE』が着用するユニフォームの発表会のニュースを見た多くの人が驚いたことでしょう。大会 PR キャプテンで俳優の館ひろしさんと肩を並べているスタジアム運営ボランティアの安田十四雄さんがスタッフユニフォームを着て、テレビやインターネットに映し出されて、新聞には記事が掲載されたからです。安田さんは1998年長野冬季オリンピックのボランティアに従事して、2002年サッカーワールドカップ日韓大会で大切な役割を担って大会をサポートしました。今回のラグビーワールドカップでは自身の豊富な経験もボランティア仲間に伝えたいと意気込んでいます。安田さんは「今回の役割はボランティアを支えるボランティアになることです。何万人のお客様にいきなり笑顔で接するかが一番大事だと思います」とインタビューの中で抱負を述べています。ユニフォームはすごく軽くて着やすくできています。青色と黄色を基調としてデザインされて、多くの観客の中でもボランティアがどこにいるか目立つので、ボランティアの存在感があって大会を盛り上げることができます。ユニフォーム(ポロシャツ半袖、長袖、ジャケット、キャップ、ボトルホルダー、バッグ)にはシリアルナンバー(通し番号)が施されて、自分だけのユニフォームを着て、一生に一度のラグビーワールドカップを良い思い出にすることができるでしょう。

開幕まで200日を切りました。ラグビーワールドカップのボランティアに参加される方々は、スタジアムで行われる試合が待ち遠しいことでしょう。この先、ボランティアとし



組織委員会提供

ユニフォーム発表会の安田さん



[IV] ボランチわ 第34号  
でのトレーニングや多くの準備などやるべきことがたくさんありますが、お揃いの素晴らしいユニフォームを着て、世界中から横浜国際総合競技場(日産スタジアム)を訪れるお客様を笑顔でお迎えしましょう。(久保勝美)

## 第9回イコトチャレンジ in 日産スタジアム ～ 5時間リレーマラソンやハーフマラソンやキッズランが行われました ～

2月3日(日)、近藤真彦プロデュースのランニングイベント「第9回イコトチャレンジ」が行われました。イコトチャレンジとは「毎日の生活の中でイコトを継続的に続けて、イコトを心から楽しむことが重要です。楽しみながら暮らしの中でイコトをチャレンジしよう」を合言葉にしています。イベント当日の朝は気温が低く肌寒い日でしたが、日中は徐々に暖かくなり、ランナーは気持ち良さそうに日産スタジアムのトラックと外周コースの特設コースを走りました。

運営ボランティアは、ランナー受付・エイドステーション(スタジアム内のトラック横と外周コース)・キッズランの担当に分かれて活動を行いました。外周コースのエイドステーションでは運営ボランティアが給水と軽食(パン、バナナ、チョコなど)をランナーに振る舞っていました。エイドステーションは長時間走るランナーにとってなくてはならない場所です。

5時間リレーマラソンには約2,000人が参加しました。この種目には個人参加(約50人)のランナーやチーム参加(1チーム:2人から9人、約260チーム)のランナーが健脚を競いました。小学生の子ども(右上の写真)がいっしょに走るチームを編成して、大人に混じってかわいらしい走りを見せていました。5時間以内にコースを多く周回したチームが優勝です。優勝チームは5時間以内に58周(94キロ)を走りきりました。5時間リレーマラソンのスタートタイムから少し遅れて、ハーフマラソンの種目がスタートして約290人が参加しました。

これらの種目とは別にキッズランが行われました。50mのコースを子ども達が楽しそうに走って、ほほえましい姿を見せていました。全ての種目の最後に手を振りながら近藤真彦が日産スタジアムのトラックを走って、場内の多くの観客は往年のアイドル歌手に大きな声援を送っていました。(久保勝美)



小学生もいっしょに走る5時間リレーチーム



外周コースのエイドステーション(給水と軽食)

## キヤノン ブレディスローカップ2018開催 ～ 地球最強のラグビーチームの決戦 ニュージーランド代表 vs オーストラリア代表 ～

2018年10月27日(土)、日産スタジアムでキヤノンブレディスローカップ2018が開催され地球最強のニュージーランド代表オールブラックスとオーストラリア代表ワラビスが対戦しました。ブレディスローカップはラグビーワールドカップの次に重要な戦いとされ、永遠のライバル同士による因縁の対決です。2つの国の外で開催されることは極めて珍しく、日本人のラグビーファンに加えて多くの海外のファンが日産スタジアムに集まりました。

試合前にはオールブラックスの選手たちが迫力満点の伝統の舞「ハカ」を披露して、自らのチームを鼓舞すると共に、相手のチームに敬意を示しました。「ハカ」の踊りによってスタジアム全体の観客を盛り上げました。





オールブラックスの選手(右側)が迫力満点の伝統の舞「ハカ」を披露

ラグビーワールドカップ2019では日産スタジアムで7試合の開催が決まっていますが、それに向けて今回のキャンノンブレディスローカップ2018が運営ボランティアの事前練習となりました。東西のゲートではオールブラックスの応援グッズを運営ボランティアが観客に配布しました。海外から訪れた観客はチケットに書かれている席の位置がわからず、運営ボランティアに尋ねていました。ラグビーの試合として過去最高の46,143人が来場してスタジアム内は大変盛り上がりしました。ラグビーの観客は試合前からたくさんのビールを飲んで楽しめます。今回も場内に特設のビール売り場を設けて、多くの観客がビールを求めて長い列を作っていました。試合はオールブラックスが37-20で宿敵ワラビーズに勝利しました。2018年の対戦成績を3戦全勝として、オールブラックスが今年もブレディスローカップを獲得しました。



西ゲートでオールブラックスの応援グッズを配布

日産スタジアムではラグビーワールドカップ2019に備えて2018年6月にハイブリッド芝を導入しました。今回のブレディスローカップでは屈強な海外のラグビー選手たちにハイブリッド芝が通用するかテストの場となりました。試合後の芝生の調査では深く抉れるような傷はありませんでしたが、ラグビーワールドカップ2019に向けて改善すべき点も見つかりました。芝生状態を改善するためのワーキングチームが結成されています。すでに芝生の現状を確認して、今後の管理計画を作成するなど専門的な議論が交わされています。

ラグビーワールドカップ2019の運営ボランティア活動に参加される方々は、今回の貴重な経験を生かして、明るく元気に笑顔で接して、世界中から日産スタジアムを訪れる観客に楽しんでいただきましょう。(久保勝美)

## 全国統一かけっこチャレンジ2018 in 日産スタジアム

～ スタートダッシュして次々と好記録を残しました ～

2018年9月29日(土)、時々小雨が降る中、全国統一かけっこチャレンジ2018が開催されて、約750人の子どもや大人が日産スタジアムのトラックで50m走や100m走のタイムを競い合いました。運営ボランティアは受付・選手集合場所の案内・場内案内と誘導・選手集合場所の腰ゼッケン貼付・記録証の配布などの担当に分かれて活動しました。

選手集合場所に整列した子どもや大人のランナーは少し緊張気味な様子でしたが、スタートラインに並んでスターターのピストルの音が鳴ると一斉にダッシュして、次々と好記録を残しました。ゴールして日産スタジアムの大型スクリーンを見上げると、自分たちの走りが映し出されて笑顔で自分の走りをチェックしていました。

走り終わったランナーは西ゲートで記録証を受け取って、自分のタイムを確認していました。(久保勝美)





腰ゼッケンを張り付けるお手伝い



手をつないでスタートラインに向かう小学生ランナー

### 四季の歳時記「餅つき&しめ縄飾りづくり」2018

2018年12月22日(土)、3年ぶりに歳時記イベントの「餅つき&しめ縄飾りづくり」が開催されました。事前申込者の中から、抽選で選ばれた56人の親子やグループが参加しました。スタジアムのトラック横では子どもたちが昔遊び(けん玉、羽根つき、たこ揚げ、こま回し、竹とんぼ、ベーゴマなど)を楽しんでいました。中には遊び方がわからない子どもたちもいましたので、運営ボランティアが遊び方を教えていました。

10月に新横浜公園の田んぼで稲刈りした自前のもち米をせいろで蒸して、親子で餅つきをしました。子ども用の小さい杵も用意されて、餅つきを体験しました。出来上がった柔らかいお餅はその場であんこやきな粉をつけたり、磯辺焼にして美味しく食べました。おかわり自由でお腹いっぱいになりました。鶏肉と野菜たっぷりの暖かい汁物も人気でした。

食後にはしめ縄飾り作りを行いました。今回使う藁は新横浜公園の田んぼで稲刈りした自前のものです。事前に乾燥させてきれいに手入れしたのを使用しました。運営ボランティアがしめ縄飾りの作り方を説明して、大人も子どもも上手にしめ縄飾りを仕上げました。

最後になりましたが、イベントに携わった日産スタジアム職員や運営ボランティアの方々、お疲れさまでした。参加された親子やグループが楽しんで、笑顔を見せてくれて良かったと思いました。(久保勝美)



小さな子どもも餅つきを楽しみました



手作りのしめ縄飾りを手にして記念撮影



## 日産スタジアム・サイクルパークフェスティバル

～ ツール・ド・ニッポン2018 10<sup>th</sup>ステージ～

2018年9月22日(土)、日産スタジアム・サイクルパークフェスティバルが開催されて、日産スタジアムと新横浜公園の特設コースを走る年に1度だけの自転車レースが行われました。昨年もこの大会は開かれましたが今年から「ツール・ド・ニッポン2018」の大会のひとつとして開かれました。ツール・ド・ニッポンは日本全国の約20か所で開催される人気の高い自転車レースです。この日産スタジアム・サイクルパークフェスティバルを楽しみにしていた約1,800人の参加者が集まって本格的な自転車レースを楽しみました。1周3.2kmの特設コースを使ってキングの部・3時間の部・2時間の部が行われて、自慢の自転車で競い合いました。この大会では小学生も出場することができるので、大人のライダーに混じってコースを走り抜けていました。新横浜公園のコース横の田んぼ近くにはラグビー日本代表のかかしが飾られて、選手たちも注目していました。運営ボランティアはフラッグマーシャルとして活動を行いました。フラッグマーシャル制度はより安全に、より楽しくレースを行うために採用されています。20か所のポストのほとんどに運営ボランティアが配置されて事故やトラブルが起きた時に黄旗・赤旗・白旗を振ってライダーに注意を促します。また無線を使って現場の状況を大会本部に連絡します。大会本番に向けて9月8日(土)にマーシャル講習会が行われてフラッグマーシャルの練習を行いました。マーシャル講習会の出席が必須です。

大会当日は午前中にかけて雨が降って路面が滑りやすく、落車(転倒)する選手もいました。新横浜公園コースから日産スタジアムに戻るところにはピネレーピークの急坂があり、登りきったところのU字カーブを曲がる難所で落車することがあり、ピネレーピークの下と上に配置された運営ボランティアは、メガホンを使って注意を促して、自転車同士の接触事故や落車が発生した時には黄旗を振って出場者に危険箇所を知らせました。

最近の大会の特徴として、女性や子供のライダーが増えてきてウェアや自転車も本格的です。全国で「ツール・ド・ニッポン」の大会が開催されていますが、多くの参加者が身近な日産スタジアムや新横浜公園を楽しそうに自転車で走り、笑顔でレースを終えることができ良かったと思いました。最後になりましたが、活動に携わった運営ボランティアやスタジアム職員の方々、大変お疲れ様でした。(久保勝美)



ピネレーピーク上のフラッグマーシャル(左側)



日産スタジアムトラックを快走するライダーたち



小学生も大人顔負けの走りを見せています



## 第6回日産スタジアムランニング合コン・ 5時間耐久リレーマラソン開催

2018年8月26日(日)、残暑厳しい中、恒例の日産スタジアムランニング合コン・5時間耐久リレーマラソンが開催されました。「ランニング合コン」は初めて顔を合わせる男女の混成チームで5時間耐久リレーマラソンに挑戦しました。スタジアム内のトラックと外周コース(1周:1.2km)を使ったリレー形式でたすきをつなぎ、5時間以内の周回数を競います。初心者ランナーでも参加しやすく、チーム一丸で盛り上がることができました。完走後には親睦パーティーが開かれ、参加者同士の話がはずんだようです。ランニング仲間や会社の同僚などのチームで「5時間耐久リレーマラソン」や「42.195kmリレーマラソン」に挑みました。チーム内で走る順番や走る距離を相談して決めることができるので健脚のランナーには周回数を増やして長い距離を走ってもらう戦略を立てるチームもありました。

運営ボランティアやスタジアム職員は、受付・参加賞引き換え・荷物預かり・リレーゾーン整理・グランド出入口整理・給水(スタジアム内と外周コース横)のそれぞれの担当に分かれて活動しました。

30℃を越える条件で1周走っただけでも大量の汗をかいていました。スタジアム内の給水テント近くには散水シャワーが設置され、走り終わったランナーが体を冷やしていました。また給水ポイントには多くのランナーが集まって、運営ボランティアが用意した水の入った紙コップを手にして飲み干していました。水をおかわりするランナーも多く、飲み終わったランナーが運営ボランティアに「ありがとう」と言葉をかけてくれました。運営ボランティアにとっても暑い時期の活動でしたが、ランナーの暖かい言葉によって活動に参加して良かったと思う瞬間でした。最後になりましたが、運営ボランティア、スタジアム職員の方々、大変お疲れ様でした。(久保勝美)



スタジアム内の給水ポイント



スタジアム内トラックを力強く走るランナー

## かかし作り体験開催!

～ ラグビー日本代表チームのかかしが田んぼに勢ぞろい ～

2018年8月19日、日産スタジアム運営ボランティアのグリーン&クリーン部会が主催する「親子で楽しく米づくり、植えて覚えよう花の名前」の第2弾として「かかし作り体験」を日産スタジアム管理事務所前で行いました。一般公募で申し込みした小学生以下のお子さんのいる6家族(合計21人)が参加しました。運営ボランティアからかかしの作り方を教わりながら、思い思いにかかしを組み立てていきました。





一般公募で参加した家族と日産スタジアム運営ボランティアとスタジアム職員で記念撮影

ラグビーワールドカップ2019の開催に向けてかかし作りのテーマを「ラグビー日本代表チーム」としました。運営ボランティアは日本代表チームの伝統の白赤ストライプのジャージを用意しました。古くなったボランティアのポロシャツを再利用してペンキやスプレーで色付けをしました。ラグビー選手にできるだけ似るようにいろいろな材料を集めてきました。ラグビー選手の筋肉隆々の体形を表現するために、多くのペットボトルやスポンジ材料を体や脚や腕に巻き付けました。白赤ストライプのジャージをかかしに着せて、頭には茶色や黒の毛糸を貼り付けて髪の毛として、頭にヘッドギアをかぶせました。ジャージの背番号は子供たちに選んでもらい、手作りのナンバーをジャージに付けました。ラグビーの楕円形のボールも運営ボランティアが事前に準備しました。足には使い古しのシューズを履かせて、仕上げに顔に目や鼻や口をマジックで描き込んで、個性あるラグビー日本代表チームのかかしが完成しました。

できあがったラグーマンかかしを運営ボランティアが新横浜公園の田んぼのフェンス沿いに据え付けました。新横浜公園には多くの方がランニングや散歩を楽しんでいますが、今年はラグビーボールを手にしたラグビー日本代表チームかかしが注目されて、多くの方が立ち止まってかかしを見ていました。(久保勝美)



かかしの作り方を説明する運営ボランティア



新横浜公園の田んぼの横のラグーマンかかし

### 歳時記「新横浜公園 凧揚げの日」

1月12日(土)、時折みぞれが降る空模様でしたが、恒例の歳時記行事の「新横浜公園 凧揚げの日」が行われて、たくさんの親子連れが訪れました。運営ボランティアが事前に多くのビニール凧のキットを準備しました。多くの親子がビニール凧のキットを買って組み立てました。うまくできない子供たちには運営ボランティアがビニール凧作りを手助けしましたが、子供が凧に好きな絵を描きました。広い新横浜公園で親子が高く上がった凧を



[X]

ボランチわ 第34号

見て歓声をあげていました。イベントの一角にはけん玉・竹とんぼ・ベーゴマ・こま回し・おはじき・ビー玉・羽根つきや竹ぽっくりなどの懐かしい遊びができる場所が用意され、親子で遊んでいました。運営ボランティアが遊び方を教えると子供たちはすぐに覚えて笑顔で昔遊びを楽しんでいました。昨年8月の「かかし作り体験の日」に作ったラグビー日本代表かかしを新横浜公園の会場に飾りつけイベントを盛り上げました。準備段階から当日の活動に参加した運営ボランティアやスタジアム職員の方々、お疲れ様でした。(久保勝美)



好きな絵を描いてビニール凧が完成



日産スタジアムをバックに高々と上がるビニール

### 平成30年度 運営ボランティア事務局会議記録(要約)

日時:平成30年12月15日(土)10:00～ 場所:307会議室

#### 1. 20周年記念実行委員会について

- 1) 20周年記念実行委員会会則は、各事務局員より修正案をメールまたは連絡してもらい、次回会議で再確認して承認する。
- 2) 実行委員会メンバーは、日産スタジアム運営ボランティア事務局員に推薦メンバーを加えて20周年記念実行委員会を立ち上げる。(日産スタジアム管理事務所から選出されたメンバーと共に、実行委員会を運営する。)
- 3) ツアー・ボランティアさんは組織として同じ活動をしていないが、記念式典・パーティーに招待する。

#### 2. 20周年記念実行委員会分科会

20周年実行委員会で、内容等検討してある程度の概要が決まった段階で各分科会のメンバー募集を実施する。

#### 3. 20周年記念事業のスケジュール

2019年4月以降に、記念講演会や祝賀パーティーを実施する方向で検討するが、2019年度の日産スタジアムのイベント予定などを考慮に入れて今後日程を決めていく。

#### 4. 20周年記念事業の費用

20周年記念事業に関わる費用は会費制として参加者から徴収する。(費用は日産スタジアムから支出しない)

#### 5. 20周年記念事業(今後、実行委員会で話し合う予定の項目)

- 1) 20周年記念講演会、2) 20周年祝賀パーティー(記念写真撮影を含む)、3) 20周年記念品、4) 20周年記念植樹、5) ボランチわ20周年記念特別号、6) 20周年記念のボランティア表彰、7) ボランティア関連品展示コーナー設置

#### 6. 2018年度Jリーグ活動報告

- ・ 配置記録(リーダー・参加メンバー人数の報告) ・ 過去5年間の活動記録報告
- ・ 2018年度Jリーグ活動記録報告 7回以上の参加者は118名、2年間活動なし 14名
- ・ 2018年度新人 69名(アカデミー出身者含む) ・ 現在のボランティア登録者 336名



平成30年度(2018年度) Jリーグ横浜F・マリノス戦7日以上活動参加者への  
観戦チケット配布についてのお知らせ

上記チケット配布・予約は既に本年3月より実施されており、4月末現在で約8割の方にはチケット配布又は予約が完了されております。未だ予約の完了されていない方には、当方にて指定の下記の試合日程のチケットをF・マリノスさんより受領次第順次配布させていただきますのでご承知ください。

7/6 vs 大分トリニータ(ニッパツ) 9/14~15 vsサンフレッチェ広島(ニッパツ)  
10/19~20 vs湘南ベルマーレ(ニッパツ) 11/8~10 vs北海道コンサドーレ札幌(ニッパツ)

### 超特選? 迷俳句コーナー

- 煮器用もの しめ飾りづくりに 熱中す 大石忠雄
- 飾り編む 手先の向こうに 杵の音
- 杵の音と しめ縄づくりに 明日託す
- 荒れた手で 縄なう父母に 葉を打つ 佐藤大浩
- 縄ないの 指導の声に 杵の音
- バンダ風 霰とともに 空に舞う
- 風づくり 見らみな選ぶは アンパンマン
- △ 縄ない指導 声に混じって 杵響く 安田 渡渉
- △ W13 ビール持つ手に チケットチェック
- △ 「こんにちは」 やっと声出る 初活動



新コーナーです。活動の合間に気づいたこと何でも一句五・七・五にしたためてみて投稿ください。随時発表します。

### 恒例のイベント「日産スタジアム運営ボランティア花見」

3月31日(日)、日産スタジアム運営ボランティアのイベント部会とグリーン&クリーン部会の合同主催で恒例の花見が行われました。運営ボランティア10周年記念樹のヨコハマヒザクラは立派に成長して今年もきれいな花を咲かせました。私たちが良く見かけるソメイヨシノと比べるとヨコハマヒザクラは濃いピンクの大きめの花を咲かせます。運営ボランティアにとって、今年は20周年の記念すべき年です。三分咲程度の花を見ながら植樹をした当時を思い出していました。

朝から運営ボランティアの有志がお赤飯、おでん、てんぷらなど多くの手料理を作りました。花見を終えた運営ボランティアはとても美味しい料理を堪能しました。普段のボランティア活動中では、おしゃべりする時間はありませんが、運営ボランティア同志の交流を図るために、約20名の参加者は自己紹介を行って、メンバー間の親交を深めました。

イベントの企画・準備を行ったイベント部会やグリーン&クリーン部会のみなさん、そしてたくさんのおいしい料理を作っていただいた運営ボランティアの方々、ありがとうございました。(久保勝美)



開花したヨコハマヒザクラ



花見に参加された運営ボランティアの皆さん



## ※ INFORMATION ※

平成31年4月～令和元年6月の活動予定

月日	イベント名	集合時間	解散時間	要員
4月13日(土)	横浜FM vs 名古屋グランパス【第7節】	15:15	21:00	126
4月28日(日)	横浜FM vs 鹿島アントラーズ【第9節】	9:15	15:00	126
5月4日(土)	チビリンピック2019 前日袋詰め作業	12:30	15:00	50
5月5日(日)	チビリンピック2019	7:15	17:00	50
5月11日(土)	世界リレー	13:00	22:00	84
5月12日(日)	世界リレー	13:00	21:00	84
5月18日(土)	横浜FM vs ヴィッセル神戸【第12節】(注意—1)	9:15	16:00	126
5月26日(日)	横浜FM vs ジュビロ磐田【第13節】	9:15	15:00	126
6月22日(土)	横浜FM vs 松本山雅FC【第16節】	14:15	20:00	126

(集合時間や解散時間など変更される場合がありますので、活動参加者は事前に確認してください)

(注意—1) 5月18日 横浜FM vs ヴィッセル神戸の開場が1時間早まります。そのため集合時間が9:15となります。

(写真提供者:久保勝美)

## ✂ ✂ ✂ ✂ ✂ ✂ 編集後記 ✂ ✂ ✂ ✂ ✂ ✂

✂ 4月2日に読みたい本を求めて新宿の紀伊国屋書店に行きました。店内に民放のテレビカメラが持ち込まれて、日本文学を扱う本棚を撮影していました。すぐにピンときて新元号「令和」関連の取材だとわかりました。前日に新元号が発表され日本中が大騒ぎになりました。その新元号の出典が「万葉集」であることから、書店で「万葉集」関連の書籍の売れ行きをニュースで取り上げていました。さて5月1日に「令和」に改元されました。新元号になってどのような生活や時代になるのか、楽しみにしている人も多いと思います。西暦と日本の元号の大きな違いは、西暦は1年ごとの区切りであるのに対して、元号を使うことによって「昭和」や「平成」の生活や文化と言った様に、何十年単位で時代の流れをまとめて感じ取ることができます。まだ誰にも「令和」の時代を予想することはできません。しかし、ラグビーワールドカップ2019や東京オリンピック・パラリンピック2020はすでに決まっているイベントです。これらのイベントのボランティアに参加される方々は、大規模イベントを盛り上げてくれることでしょう。結果的に「令和」がスポーツイベントによって飛躍する時代となってくれることを心から願っています。(久保 勝美)

✂ 3月3日午後、大きなカメラ機材を背負ったNHKテレビクルー数名による我が家でのテレビ取材。翌3月4日東京日本青年館での10時から15時のユニフォーム発表会(3頁記載)と、私にとってとてもハードな2日間でした。2002年FIFAサッカーWCのときも、同様のユニフォーム発表会に出場しましたが、今回はラグビーWCだけにイギリス AP 通信の取材も受けて英国を始め各国にニュースが流れたようです。取材の様子はこの次とし私が皆さまにお伝えしたいのは、この「ボランティアユニフォーム」の素材の良さです。オールブラックスの黒のユニフォームで有名なニュージーランド・カンタベリー社の製品で、半袖・長袖のポロシャツとパーカー(写真)の素材の良さは抜群でした。デザイン・カラーそして着心地もとても素晴らしかったです。大会ボランティアの皆さん、来る日このユニフォームに袖を通すのを楽しみにしてください。そして十分に大会を盛り上げて活動してください。

✂ 今年の日産スタジアムボランティアの活動は8月までです。ラグビーWC2019の試合がスタジアムで開催されるために、9月から11月まではJリーグ横浜F・マリノスの試合はニッパツ(三ツ沢)で行われます。その他の種目の活動もありません。その代わりに12月には10ページ掲載のとおり「スタジアムボランティア20周年記念事業」を開催する予定になっております。色々な楽しい記念企画を立てておりますのでどうぞ期待してお待ちください。(安田 十四雄)

発行・編集：日産スタジアム ボランティア事務局 情報部会

〒222-0036 横浜市港北区小机町3300 日産スタジアム TEL:045-477-5030 FAX:045-477-5002